

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答欄	担当課					
1	健康経営事業所認定・表彰事業	従業員の健康づくりを戦略的に行う区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定します。(目標値 R7:150事業所)	認定事業所数	R1				0	19		B	令和2年度はコロナ感染拡大状況を鑑み募集を休止したため、令和3年度の認定事業者は増加しない。 ※令和元年度(創設年度)は審査のみであり、翌年から認定期間となるため認定事業者数は0である。	健康政策部	健康医療政策課	Cではなくて？目標値に行くためには残り期間1年30事業所数になるが、そのための改善施策は？	当事業は、令和元年度に創設し、庁内連携の上、商工業関係団体などに応募動員に向くと周知に努めました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業所への影響などを考慮し、やむを得ず募集を中止したことから評価をBとしました。令和3年度は、コロナ禍の中でも感染対策を強化して従業員の健康づくりに取り組む事業所を応援する意義を踏まえ、募集を再開し、初年度より多い23社の応募がありました。今後、目標の達成に向けて関係機関との連携、多様な媒体の活用など、周知の強化に取り組んでまいります。	健康医療政策課					
2	はねびょん健康ポイント事業(対象者拡大)	健康ポイント事業の対象を18歳以上の一般区民に拡大し、区民が視覚的に健康づくりへの活動成果を確認でき、また、「健康ポイント」を集め、一定のポイントがたまれば、インセンティブと交換できるようになります。(目標値 R5:50,000人)	利用者数	R1				6,232	21,263		A	【評価について】 数値では表せない対応や取組も含め、事業全体の評価としています。	健康政策部 観光・国際都市部 区民部	健康づくり課 スポーツ推進課 国保年金課	急増した理由は？コロナ禍はプラスに作用した？この成功原因は他の施策に反映できないか？ 利用者数は、アプリダウンロード？アプリ稼働？一回でも利用していたら利用者数に入っている？(2022年1月18日ははねびょんからのお知らせではダウンロードが28,000人となっている)	令和元年度の利用者数は、アプリリリース開始の12月から4か月間のため、数字上は令和2年度に急増したように見えています。令和2年度は区報1面掲載に加え、コロナ禍に応じた非接触型イベント実施等により、多くの区民の方に関心を持っていただくことができました。なお、利用者数はアプリダウンロード数です。	健康づくり課					
3	健康づくりグループの交流、スポーツ実施の担い手を支える人材の育成、総合型地域スポーツクラブへの支援	区民が取り組んでいる健康づくりグループについて、交流会を開催するほか、スポーツ推進委員やラジオ体操指導者など、区内で活躍する人材を育成します。また、総合型地域スポーツクラブの活動場所の確保や自立化などの支援を行います。(目標値:R6 この1年間に自主的な活動に参加した区民 55%)	健康づくりネットワーク登録団体数		36	36	36	38	40		A	令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、「ラジオ体操指導者養成講習会」及び「地域スポーツクラブ指導者出張事業」はほとんど実施することができなかった。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、感染防止対策の徹底を図りながら、可能な限り実施する。 また、「地域スポーツクラブ指導者養成講習会」については、オンラインによる実施も視野に入れながら、区民の安全・安心を第一に取り組んでいく。	健康政策部	健康づくり課	健康づくりネットワーク交流会		1	1	1	1	1	
			ラジオ体操指導者養成講習会開催数(日数)		3	3	3	2	0													
			ラジオ体操指導者養成講習会参加者数(証)		412	352	420	234	0													
			地域スポーツクラブ指導者養成講習会開催数		1	1	1	0	2													
			地域スポーツクラブ指導者養成講習会参加者数(証)					0	21													
			地域スポーツクラブ指導者出張事業開催回数	R1				56	2													
地域スポーツクラブ指導者出張事業参加人数(証)					1,133	39																
4	新スポーツ健康ゾーン活性化事業	「大森ふるさと公園」を中心に整備を進めてきた新スポーツ健康ゾーンを活用して、誰もが気軽に体を動かし、健康維持増進につながる取組を推進します。(目標値:R6 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上している区民 44%)	ビーチスポーツ教室開催数 ※H29はビーチバレー大会、体験会を実施 ※H30はエリア運動イベントの開催数も含む			4	44	31	21		B	観光・国際都市部	スポーツ推進課	ビーチスポーツ教室参加者数(証) ※H29はビーチバレー大会、体験会の参加者数 ※H30はエリア運動イベントの参加者数も含む		1,185	862	535	429			
			ビーチバレー場無料開放DAY(回数)				22	19														
			ビーチバレー場無料開放DAY(証参加者数)				851	636														
			ゾーン内公園等整備数		2	0	0	2	0													
			整備実績は、各公園の整備が完了した年度に計上しております。令和2年度については、暫定整備となっている大森東水辺スポーツ広場の用地取得に向けて、東京都と交渉を進めました。	公園課	ゼロだからA?	公園課																
5	健康まちづくりの推進	街歩きを促す歩行空間の形成を推進するとともに、自転車走行環境の整備等を行い、健康増進のために自転車を活用できる環境を創出します。駅前広場、公園、公共施設等のスペースを有効に活用できるよう、ハード・ソフト両面から取組を進めます。(目標値:R6 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上している区民 44.4%)※※数値に誤りがあったため、修正しました。	自転車走行環境整備整備済距離(km)		10	24	40	94	96		A	まちづくり推進部 都市基盤整備部 観光・国際都市部	都市計画課 都市基盤管理課 スポーツ推進課	コミュニティサイクル事業(試行・検証)サイクルポート数		7	42	66	76	89		
			コミュニティサイクル事業(試行・検証)自転車台数		100	300	300	300	300													
			コミュニティサイクル事業(試行・検証)累計登録者数		48	3,300	9,173	16,508	30,419													
			コミュニティサイクル事業(試行・検証)累計利用回数		16	20,829	163,331	457,958	934,841													
コミュニティサイクル事業の目標値は区民44.4%の目標値にインパクトを与える程度に設定されているのか？区民44.4%に対して考えると累計登録者3万人は少なすぎないか？健康ポイントとのリンクはあるか？(アプリでは自転車「散走」の紹介はされているようだが)																目標値の44%は、「基本目標1 生涯を通じた健康づくりを推進します」(施策1 身体活動・運動)「施策の目標 運動習慣のある人の増加」における目標値であり、コミュニティサイクル事業個別の目標値ではございません。また、健康ポイントのリンクはございません。	都市基盤管理課					

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考（評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載）	担当部	担当課	採録委員コメント			
															担当課回答欄	担当課		
6	「キラリ☆健康おおた」の推進	「プラス10」毎日プラス10分身体を動かそう！を推進することで、日常生活のなかで階段の使用や職場などでのすき間時間を利用した体操を行ない、無理なく身体を動かします。	キラリ☆健康おおたパンフレット作成数	R1	/	/	/	5,000	60,000		A		健康政策部	健康医療政策課 健康づくり課				
			ツイッター発信数		/	/	/	56	64									
			はねびょん健康ポイントお知らせ通知数		/	/	/	2	32									
			SPOOTA!(スポータ!)発行回数	H30	/	/	/	4	4	4		A		観光・国際都市部				スポーツ推進課
			SPOOTA!(スポータ!)発行部数		/	/	/	20,000	20,000	20,000								
7	おおたフレイル予防対策	区内全域でフレイル予防を普及・啓発し、各地域においてフレイル予防の実践の場を拡充し、住民の自主的な通いの場につなげていくため、その担い手の育成を図ります。	フレイル予防実践講座参加者数	R1	/	/	/	335	299		A	R1の数字335は、ケアマネジャー連絡会、自主グループ連絡会などで実施したフレイル予防講座参加者数 R2の数字299は、通信型フレイル予防実践講座参加者数	福祉部	高齢福祉課				
	東邦大学との共同研究「人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」	東邦大学と共同で行政情報及び質問票調査を17特別出張所ごとに分析し、科学的根拠に基づいた健康づくり施策の立案に活用します。	行政情報提供数(項目)	R2	/	/	/	/	21		C	当初計画ではR2に36,000件を対象とした調査を実施予定だったが、事業見直しの結果、R3に延期することとした。R3では予定どおりの件数を実施するが、研究期間の1年延伸が必要となる見通し。	健康政策部	健康医療政策課				
			質問票調査実施数		/	/	/	/	0									

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答欄	担当課
32	健康経営事業所認定・表彰事業【再掲】	従業員の健康づくりを戦略的に行う区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定します。	認定事業所数	R1				0	19			【再掲:原則評価不要】	健康政策部	健康医療政策課			
33	たばこセミナーの実施	禁煙希望者およびその家族、再喫煙者に対して、加熱式も含めたたばこの知識、ニコチン依存についての正しい知識、具体的な禁煙への取り組み方などを取り入れた講座を実施します。希望のある企業や事業所には保健師が出向いてミニ講座を実施します。	実施回数			1	1	5	2		A		健康政策部	健康づくり課	オンライン化やいつでも見れる動画配信、視聴によって健康ポイントゲットなどの工夫は検討されているか？	たばこセミナーは出張健康教育「たばこ編」と名称を変更しています。オンラインでの講座は、受講可能です。動画の配信および視聴によるポイント獲得も可能です。	健康づくり課
			参加者数			47	11	71	44								
34	受動喫煙防止対策及び禁煙支援等に係る区報・ホームページ・チラシ・パンフレットによる啓発	○改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例に基づく受動喫煙防止対策を多様な媒体を活用し周知します。 ○区報「世界禁煙デー」受動喫煙防止PRステッカーの掲載 ○ホームページ「たばこと健康」の掲載 ○加熱式たばこ等の情報提供(目標値 R6アンケート:喫煙率12% R6アンケート:受動喫煙経験者割合の減少)	ホームページ等での情報提供		実施	実施	実施	実施	実施		A		健康政策部	健康づくり課			
			受動喫煙防止に関する掲示掲載区設掲示板数	R1				321	321								
			受動喫煙防止対策相談窓口受付件数					915	1,126								
			メールによる苦情相談件数					43	197								
35	区立小中学校における喫煙防止教育	がん教育の一環として区立小学校の6年生、区立中学校の3年生を対象に喫煙が体に及ぼす影響等を学ぶ喫煙防止教育を実施します。	実施校数(小学校)	H30			10	19	11		B		教育総務部	学務課			
			実施校数(中学校)	R1				3	2								
36	妊娠届出時等における啓発	妊娠届出時や乳幼児健康診査等で、妊婦、母親、家族等に、パンフレットを用いた喫煙の健康被害や禁煙の指導及び情報提供を行います。(目標値 R6:妊婦の喫煙率0%)	妊婦面接		5,202	5,658	5,699	5,689	5,558		A		健康政策部	健康づくり課 地域健康課	これらの実施で、個々人の喫煙有無のチェックをしているかは、各啓発が結果的に禁煙に結び付いているか？(妊婦面接で啓発したら、すこやか赤ちゃん訪問時には禁煙していたなど)	妊婦面接時や乳幼児健診時に喫煙者に対してはパンフレットを使い禁煙、受動喫煙の害について指導しています。禁煙率について数字として表れていませんが、妊婦面接時に受動喫煙の害や知識について話をすると熱心に聞く方が多く、たばこの害について意識が高まっていると思われます。	健康づくり課
			すこやか赤ちゃん訪問数(実)		5,387	5,282	5,107	4,810	4,411								
			4か月健診		5,768	5,636	5,752	5,061	4,883								
			1歳6か月健診		5,698	5,666	5,475	5,324	5,247								
37	受動喫煙防止に配慮した屋外の喫煙対策	受動喫煙防止に配慮した屋外での環境整備を進めます。公共の場(路上・公園・広場等)での喫煙ルールを策定します。(目標値 R6:受動喫煙経験者割合の減少)	公衆喫煙所整備数				2	0	4		B	公衆喫煙所を4か所整備し、分煙環境の整備・推進に寄与した。	環境清掃部 健康政策部	環境対策課 健康づくり課			
			指導員による喫煙ルールの指導啓発日数(蒲田駅周辺)			213	359	359	359								
			指導員による喫煙ルールの指導啓発日数(主要駅周辺等)		162	106	106	156	156								
			指導員による喫煙ルールの指導啓発日数(講習喫煙所及び苦情箇所周辺)						80								
38	イベントでの啓発(飲酒)	「成人のつどい」をはじめ、多くの区民が集まるイベントの機会に普及啓発を行います。(目標値 R6:生活習慣病リスクを高める量を超えて飲酒している区民の減少)	イベントでの啓発回数		1	1	1	1	0		A		健康政策部	健康づくり課			

39	妊娠届出時における啓発 【再掲】	妊娠届出時や乳幼児健康診査等で、妊婦、母親、家族等に、パンフレットを用い適正飲酒の情報提供を行います。	妊婦面接		5,202	5,658	5,699	5,689	5,581			【再掲：原則評価不要】	健康政策部	健康づくり課 地域健康課
----	---------------------	---	------	--	-------	-------	-------	-------	-------	--	--	-------------	-------	-----------------

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
48	がん知識の普及啓発	がんに関する知識について、ホームページやツイッターなどの広報媒体や、健康教育などの機会を活用し、情報提供を行います。 ツイッターや健康教育は他で記載のため割愛)	「がん検診等のご案内」送付数(概数)		415,000	419,000	423,000	427,000	429,000		A	感染症拡大のためがん講習会は中止、乳がん自己触診法講座は受講者が減少したが、様々な媒体を使ってがん知識の普及啓発を図った。	健康政策部	健康づくり課			
			「子宮頸がん検診のご案内」送付数(概数)		96,000	94,000	95,000	100,000	102,000					健康づくり課			
			がん検診受診勧奨リーフレット配布施設数(郵便局・出張所等)	R1				112	138					地域健康課			
			がん講習会参加者数		42	42	22	50	0								
			乳がん自己触診法講座参加者数		5,301	5,531	5,595	5,042	649								
49	健康経営事業所認定・表彰事業【再掲】	従業員の健康づくりを戦略的に行う区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定します。	認定事業所数	R1				19	19			【再掲：原則評価不要】	健康政策部	健康医療政策課			
50	区立小中学校における喫煙防止教育【再掲】	がん教育の一環として区立小学校の6年生、区立中学校の2年生を対象に喫煙が体に及ぼす影響等を学ぶ喫煙防止教育を実施します。	実施校数(小学校)	H30			10	19	11			【再掲：原則評価不要】	教育総務部	学務課			
			実施校数(中学校)	R1				3	2								
51	がん検診の受診率向上	検診機会(曜日・時間帯)の充実や、要精密検査未受診者への受診勧奨など、がん検診の受診率向上に取り組めます。 (目標値:R6アンケート 5がん検診受診率50%及び区実施のがん検診認知度増加、R5 要精密検査受診率5がん平均92%)	胃がん検診受診者数(X線)		13,718	12,795	11,968	8,464	7,866		A		健康政策部	健康づくり課 地域健康課			
			胃がん検診受診者数(内視鏡)	R1				4,705	8,540								
			精密検査受診率(胃がんX線)		94.4	92.9	93.6										
			肺がん検診受診者数		28,152	27,832	27,946	28,335	32,998								
			精密検査受診率(肺がん)		91.3	93.1	93.1										
			大腸がん検診受診者数		35,163	33,870	32,832	33,489	40,925								
			精密検査受診率(大腸がん)		83.5	83.1	84.0										
			子宮頸がん検診受診者数		26,266	26,280	26,490	26,940	29,658								
			精密検査受診率(子宮頸がん)		82.3	82.5	83.9										
			乳がん検診受診者数		15,489	15,148	14,934	15,688	15,219								

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
			精密検査受診率 (乳がん)		97.0	95.8	94.2	/	/								
52	がん患者の相談支援	がん患者が治療しながら自分らしく生活できるよう、地域の様々な主体と連携し、暮らしに寄り添う相談支援を行います。 (目標値 R6:がんになっても地域で安心して暮らしていけると思う人の割合の増加)	乳がん患者会 (開催回数)		6	6	6	5	0		A	感染症拡大のため患者会は中止したが、電話等による個別相談は継続した。	健康政策部	健康づくり課	個別相談でA評価であれば、患者会は不要ということで良いか？もともと足りるのか？		健康づくり課
			乳がん患者会 (参加延人数)		81	41	51	46	0								
			相談先の情報提供数	R2	/	/	/	/	1		C	両立支援の相談窓口を設置している東京労災病院(大田区大森南)を区HPで紹介した。(R3は区のyoutubeで紹介) コロナによる影響で、財政的に区の新規事業は難しい。今後も両立支援を実施している医療機関等を健康経営認定事業所をはじめ、区内事業所に紹介し、積極的な周知に努めていく。	健康政策部	健康医療政策課			

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
60	生活習慣病に関する知識の普及啓発	生活習慣病を予防するためには、運動や食事など、若い世代から健康的な生活習慣を心掛ける必要があります。そこで生活習慣病に関する正しい知識や望ましい生活習慣について、様々な機会において普及啓発を行います。	生活習慣病予防教室実施回数		20	16	8	8	0		A	感染症拡大のため生活習慣病予防教室は中止、児童館から健康教育依頼件数は減少したが、様々な機会を使って生活習慣病に関する知識の普及啓発を図った。	健康政策部	地域健康課 健康づくり課	各項目の数字だけ見るとCやD評価だと思うが、「様々な機会を使って」普及啓発を図れて「A」となるのであれば、そもそもコロナ禍で新たな項目を設定すべきでは？		地域健康課
			生活習慣病予防教室参加延人数		341	340	192	185	0								
			出張健康教育実施回数		88	106	71	73	19								
			出張健康教育参加延人数		1,841	1,954	1,498	1,558	276								
61	健康経営事業所認定・表彰事業【再掲】	従業員の健康づくりを戦略的に行う区内事業所を「おおた健康経営事業所」として認定します。	認定事業所数	R1				0	19			健康政策部	健康医療政策課				
62	子どもの健康づくり教室	小学校の児童と保護者を対象に、食事の面から見た子どもの健康づくりを目的に調理実習や講義をとおして成長期の骨づくりの大切さを学びます。そのほか、区立小・中学校においても外部講師等を招いて実施します。	実施回数(池上会館)		3	3	3	3	0		D	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、池上会館での実施は中止となった。また、小・中学校でも実施しない学校も多く小学校1校のみの実施となった。	教育総務部	学務課	D評価の事実のみ記載があるが、今後の改善策のコメントも知りたい	学校保健会において、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、事業の再開及び開催手法の変更等を検討中である。	学務課
			実施校数(小学校)		34	39	33	32	1								
			実施校数(中学校)		3	3	2	3	0								
63	骨粗しょう症対策	骨粗しょう症検診等により骨粗しょう症を早期発見し、自身の骨の状態(骨密度)を知り、栄養、運動に関する相談や指導を行います。	骨粗しょう症検診受診者数	R2					2,474		A		健康政策部	健康づくり課			
			出張骨粗しょう症予防教室(児童館)実施回数		11	13	13	10	0		D	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業が全面的に中止となった。なお、骨密度測定器のリース終了により、令和3年度以降は測定値の把握による動機付けができないため、普及啓発のあり方を検討する必要がある。	健康政策部	地域健康課			
			出張骨粗しょう症予防教室(児童館)参加実人数		210	201	169	166	0								
64	医科・歯科での歯周病予防の啓発	医科・歯科への受診勧奨についてのリーフレットを作成し、区民へ情報提供を通じ、歯周疾患、生活習慣病の重症化を予防します。(目標値:施策5 R6 進化した歯周病にかかっている人の割合の減少)	医科歯科連携リーフレット作成数	R1				7,000	14,000		A		健康政策部	健康づくり課			
			歯科受診勧奨者数(糖尿病患者から一定の条件で抽出)	R1				151	393		B		区民部	国保年金課			
			歯科受診率(%)	R2				26	52								
65	39歳以下の健康診査(医師会委託)	18~39歳の区民を対象に、生活習慣病の早期発見・早期治療のため、健康診査を実施します。	実施数		2,126	2,047	1,715	1,803	1,973		A		健康政策部	健康づくり課	2000件前後であれば、Aなのでしょうか？2000件やっていたら目標達成できるのでしょうか？	実施数が安定して推移している点、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国的に健診の受診控えが問題となる中で令和2年度の実施数が前年度より増となった点を踏まえ、評価Aとしました。	健康づくり課
66	大田区国民健康保険糖尿病性腎症等重症化予防	大田区国民健康保険被保険者で糖尿病性腎症等患者を対象に、保健師等が生活習慣改善を指導し、人工透析等の重症化を予防します。	保健指導受診者数		18	17	9	13	22		B		区民部	国保年金課			

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
78	乳幼児歯科相談	乳幼児の健康な口腔の育成のため、教室や相談にて知識の普及を啓発します。(目標値:R6 3歳児のむし歯のないごとの割合の増加)	健康教育(実施延人数)		1,036	896	777	605	0		A		健康政策部	地域健康課			地域健康課
			歯科相談(実施延人数)		564	441	381	363	399								
			歯科経過観察(実施延人数)		389	356	382	333	264								
			予防措置(実施延人数)		805	667	615	558	548								
			保健指導(実施延人数)		953	797	763	696	663								
79	医科・歯科での歯周病予防の啓発【再掲】	医科・歯科への受診動向についてのリーフレットを作成し、区民へ情報提供を通じ、歯周疾患、生活習慣病の重症化を予防します。(目標値:R6 進行した歯周病にかかっている人の割合の減少)	医科・歯科連携リーフレット作成数	R1				7,000	14,000		【再掲:原則評価不要】	健康政策部	健康づくり課				
			歯科受診動向数(糖尿病患者から一定の条件で抽出)	R1				151	393		【再掲:原則評価不要】	区民部	国保年金課				
			歯科受診率(%)	R2				26	52								
80	成人歯科健康診査の充実	口腔機能の低下の早期発見と予防のため、歯科健康診査内容の充実を図ります。(目標値:R6 進行した歯周病にかかっている人の割合の減少)	受診者数		7,643	7,952	7,711	7,961	8,467		A		健康政策部	健康づくり課			
81	出張健康教育	ライフステージに合わせた歯と口腔の健康について施設等からの依頼による出張健康教育を実施し、知識の普及を啓発します。(目標値:R6 3歳児のむし歯のない子どもの割合の増加、12歳児の一人平均むし歯数 0.80本、咀嚼良好者の割合(60歳代)増加)	開催数		399	425	458	481	34		A	感染症拡大のため出張健康教育の依頼は減少したが、歯科保健に関する情報誌を作成し保育園等に配布した。	健康政策部	地域健康課	もし、情報誌の配布で「A」となるのであれば、出張健康教育は、情報誌の配布に変更してよいか？		地域健康課
			参加者数		9,830	10,312	10,486	10,908	622								
82	介護予防事業	口腔ケアや誤えん性肺炎の予防など、口腔機能の保持・増進のために知識の普及を啓発を行います。(目標値:R6 口腔ケアが誤えん性肺炎を予防している区民の割合の増加)	口腔機能向上講演会(年1回)(実人数)		116	54	93	73	0		A	感染症拡大のため事業を中止したが、ホームページを使って口腔ケアや誤えん性肺炎予防について情報提供を行った。	健康政策部	地域健康課	もし、HP掲載で「A」となるのであれば、介護予防事業はHP掲載に変更してよいか？		地域健康課
			口から始める健康講座(実施回数)		44	43	46	45	0								
			口から始める健康講座(実人数)		870	872	743	723	0								

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集団を対象とした健康教育は中止しました。仕上げ磨きができない等の相談の希望者には、個別相談に振り替え実施しました。また、集団の健康教育ができなかったため、むし歯予防に関する動画のリンクを行いました。こうした取り組みにより保護者への知識の普及と不安の軽減に対応できたことから評価を「A」としました。

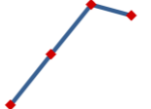
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、依頼されていた健康教育を延期や中止しました。また、依頼の内容は、歯みがきの実習を伴うものが多く、飛沫感染の予防を含め希望する施設が減少しました。毎年保育園からの依頼も多かったため、情報提供として保護者向けに情報誌を作成しました。コロナ禍でできる内容で啓発を行ったことから「A」と評価しました。今後は、新型コロナウイルスの感染状況注視しながら、出張健康教育を継続していきます。

新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、介護予防教室を中止しました。口腔機能の低下予防を広く周知するために、ホームページでの情報提供を行いました。コロナ禍においても事業目的に則した周知啓発を行ったことに対し、「A」と評価しました。口腔ケアや口腔体操などは、体験学習として、一緒に実践したほうがより効果があると考えています。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、介護予防教室を継続していきます。

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
100	子育て世代包括支援センターの機能整備	妊娠、出産、子育てに関する相談に応じ、支援プランの策定や地域の保健医療、又は福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て施策とを一体的に提供します。	対応状況	R1				準備	開設		A		健康政策部 こども家庭部	健康づくり課 地域健康課 子育て支援課 保育サービス課 子ども家庭支援センター			
101	妊婦面接	妊娠から子育て期へつながる支援のファーストコンタクトとして、妊娠届出時などに妊婦全員に面接を実施します。 (目標値:R6 90%)	妊婦面接実施率	H28	79.4%	83.8%	89.7%	88.6%	91.2%		A		健康政策部	健康づくり課 地域健康課	コロナ禍でも目標値9割を超えたのは素晴らしい。この成功体験はコロナ禍における他の事業でも活かさないか？	健康づくり課	健康づくり課
102	子育て応援メールの拡充(旧:きずなメール)	妊娠中の方や就学前のお子さんがいるご家族の方が安心して出産や子育てが出来るように、おなかの赤ちゃんやお子さんの成長の様子、健康・食事などのアドバイス、子育てサービス等についてタイムリーに情報をお届けします。 (目標値:R6 登録数12,000件)	メール配信者数(年度末時点) (H30.7月～LINE追加)	H28	1,416	2,046	3,118	4,015	6,094		A		健康政策部	健康づくり課			
103	産後ケアの推進	産後直後は母親の体調が不安定で、育児不安も強くなりやすい時期であるため、母親の身体的、心理的な安定をはかるため、訪問型、デイサービス型などの支援を行います。	産後ケア(訪問)	H30			139	260	406		A		健康政策部	健康づくり課 地域健康課			
			産後ケア(日帰り)	R1				48	127								
			産後ケア(宿泊)	R2					54								
104	すこやか赤ちゃん訪問事業 (産後うつスクリーニング事業)	乳児と母の心身の状況や養育環境を確認して相談支援や育児情報を提供するため、保健師または助産師が生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問します。あわせて母に産後うつスクリーニングを実施します。 (目標値:R6 100%)	訪問割合		94.1%	92.2%	92.4%	92.8%	97.7%		A		健康政策部	健康づくり課 地域健康課			
			産後うつスクリーニングテスト等実施割合(対訪問数)		97.3%	97.2%	98.6%	98.5%	98.3%								

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
167	食育フェア	食育に関する活動について広く区民に周知するため、駅ビルなど民間と連携してパネル展を開催します。	来場者数		548	348	1,986	3,465	中止		A	感染症拡大のためフェアは中止したが、様々な媒体を使って食育の重要性を伝えた。	健康政策部 子ども家庭部 教育総務部	健康づくり課 生活衛生課 地域健康課 子育て支援課 保育サービス課 学務課 指導課	もし、「様々な媒体を使って」評価がAなのであれば、今後は食育フェア事業はしなくても良いということが良いか？	食育推進のあり方については、コロナ禍での取り組み内容も踏まえて、より効果的な方法を検討いたします。今後の食育フェア事業については、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら継続していきます。	健康づくり課
168	若者向け食育啓発事業	コンビニエンスストアでのポップ表示やスーパーマーケットでの健康教育など、地域の小売店や商店街と連携して食育を推進します。	①コンビニエンスストア協力店舗数 ②グランデュオ蒲田内協力店舗数 ③協力商店街数(商店街イベントでの普及啓発協力)		/	/	84	228	232		A	対象となる世代が利用するコンビニエンスストア、地域の飲食店、商店街等の協力が得られた。	健康政策部	健康づくり課			
169	保育園における食育指導	園児に対して野菜栽培や米づくりなどの体験を通じ食への関心と食を大切にすることを育みます。また、保護者に対して離乳食講習会や給食と食材の展示、地域の子育て世代に対して食育指導などを行います。	実施園数(区立園)		47	45	43	41	39		B	新型コロナウイルス感染症予防対策を実施したため、離乳食講習等の実施回数は減少となったが、電話個別相談や資料配布等の工夫を行い実施した。 なお、園児に対して、予定どおり野菜栽培や米作り等の体験を実施した。	子ども家庭部	保育サービス課			
170	児童館等における食育指導	乳幼児保護者向けに栄養相談、離乳食講座等を行います。また、小学生対象の食育パネルシアター、野菜栽培、茶道教室などを通じて、食への関心を深め、日本の食文化にふれる体験を行います。	乳幼児向けの栄養相談と離乳食教室(実施施設数)		57	56	51	57	7		A		健康政策部	地域健康課	なぜ評価がCやDではなく、「A」なのかかわからず。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、健康教育を中止し、個別相談に振り替えて実施しました。食育の普及啓発と区民の相談内容に対応できたことから評価をAとしました。	地域健康課
			大人の食育講座(実施施設数)		4	2	4	2	0								
			小学生対象の食育パネルシアター(実施施設数)		16	15	28	28	3								
			野菜栽培(実施施設数)		5	3	3	3	3		C	コロナウイルス感染症感染防止のため、イベント中止や利用者制限を行った期間があったことから、計画通りの実施ができなかった。	子ども家庭部	子育て支援課	コロナ禍における代替施策は検討されているか？	野菜栽培については例年通り実施しましたが、茶道教室やクッキングは実施を見合わせており、今のところ代替施策は検討していません。	子育て支援課
			茶道教室(実施施設数)		18	18	12	11	0								
小学生～中高生クッキング(実施施設数)		17	10	10	4	0											

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考(評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
171	学校給食活動	伝統や食文化にふれる機会として、行事食や地域の高齢者との交流給食を実施します。	実施校数(小学校)		55	56	56	55	9		D	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事を中止とする学校が多く、給食活動を予定していた小学校27校中18校が中止、中学校2校中2校が中止となった。	教育総務部	学務課			
			実施校数(中学校)		2	3	3	2	0								
172	介護予防教室(栄養・口腔)、シニアメニュー集配布	介護予防、フレイル予防の普及啓発を目的として、高齢者を対象に栄養状態の維持・改善のための講座を行います。	シニア世代食生活講座1日制(実施回数)		6	6	6	5	0		A	感染症拡大のため講座は中止したが、個別相談を実施した。地域包括支援センター等主催の講座に、積極的に働きかけて健康教育を実施した。	健康政策部	地域健康課	もし「個別相談」でAなのであれば、今後は当該事業は必要ないという点で良いか？	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、介護予防教室を中止し、個別相談に振り替えて実施しました。個別相談と集団健康教育の特徴を踏まえて、関係部署と連携しながら今後より効果的な方法を検討します。	地域健康課
		(参加人数)		74	68	88	61	0									
		シニア世代食生活講座3日制(実施回数)		12	12	12	12	0									
		(参加実人数)		163	145	147	143	0									
		講演会(回数)		1	1	1	1	0									
		(参加人数)		105	54	67	41	0									
		出張健康教育(地域包括支援センター依頼等)実施回数		69	65	51	57	25									
		参加人数		1,499	1,283	1,030	1,075	232									
173	健康メニュー協力店の拡充	食を通じた健康づくりを推進するため、区内飲食店に健康メニューを提供する協力を呼びかけます。(目標値:R6 58店舗)	登録数		18	25	30	32	32		A	感染症拡大のため登録店を増やすことはできなかったが、ホームページで既存登録店舗の情報提供を行った。	健康政策部	健康づくり課 地域健康課	事業が「拡充」なので、HP情報提供で「充実」はできても、「拡大」は出来ていないのでAにはならないと思うのだが	健康メニュー協力店のテイクアウトの情報等をホームページに掲載するなど、コロナ禍でも可能な食を通じた健康づくりの推進を行ったことから評価をAとしました。今後も、新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、協力店の拡充に努めます。	健康づくり課
174	食品ロスの削減	食品ロス削減に関する啓発を行うとともに、家庭で余っている食品を必要としている施設・団体に寄付するフードドライブ活動などを実施します。	大田区食べきり応援登録事業者数	R1				36	41		B	新型コロナウイルス感染症拡大防止の目的から、フードドライブ(6月分)の実施中止や、食べきり応援団の登録促進を図るための広報縮小を余儀なくされたが、事業見送りとはせず、概ね順調な事業推移となった。	環境清掃部	環境計画課			
		小中学校対象出前授業 座学+調理実習型の合計回数(≠学校数)	R1				4	6									
		未利用食品有効活用事業者マッチング(R1まで提供量(kg))	R1			1,240	3,016										
		未利用食品有効活用事業者マッチング(R2から社会福祉協議会への紹介団体数)						7									
		フードドライブ回数			1	3	3	2									
		フードドライブ参加者数(延)	H29		15	226	416	341									

No.	事業名	事業内容	項目	開始年度	H28	H29	H30	R1	R2	推移	評価	備考 (評価がC又はDの場合のみ記入必須。A、Bの場合は自由記載)	担当部	担当課	塚越委員コメント	担当課回答	担当課
			フードドライブ 寄付点数			136	2,047	3,913	3,496								
			フードドライブ 寄付量(kg)			37	802	1,160	1,029	